

2023(令和5)年度埼玉県・オハイオ州スカラシップ
〈語学・大学留学コース〉10月レポート
“3つのH”

2023(令和5)年度奨学生 河原塚 咲

みなさま、こんにちは。

10月に入ってから、確実に冬が近づいていると感じます。31日には、こちらへ来てからはじめて雪が降り
ました。日本では見慣れたものですが、クラスメイトの数人は、はじめて雪を見たと言っていて驚きました。
今回のレポートでは、授業で訪れた地域、イベント、そしてフィンドレー大学のとある施設について紹介します。
図らずも、全て頭文字がHです。3つのH、最後までお楽しみください。

Contents

1. Hamtramck について
2. Halloween について
3. Health Center について

1. Hamtramck について

今学期、私は他の日本人留学生の大半とともに Cultural Connections という授業を履修しています。この授業では、さまざまなコミュニティの中で日本について紹介したり、アクティビティをしたりします。

今回、私たちはオハイオ州の北隣にあるミシガン州・Hamtramck という地域にある歴史博物館と Middle School を訪問しました。まず、簡単に Hamtramck という地域を紹介します。Niraj Warikoo (2023)によれば、2020年の調査で、この地域の住民の約30~38%がイエメン系、24%がアジア系(その多くがバングラデシュ)であることが分かりました。2022年には、市長を含む市議会における全ての重役をイスラムの人々が占めるという、アメリカの歴史史上初の地域となりました(Hamtramck City Council approves religious animal sacrifices at home (freep.com) 情報取得:2023/10/29)。

加えて、この地域は歴史的にも興味深い場所でもあります。1910年に Dodge Main という自動車工場が設立されると、仕事を求め多くの移民がやってきました。この多くは、ポーランドからの移民であり、アメリカの自動車産業は繁栄の時代を迎えました。しかし、1979年に工場が閉鎖され、アメリカの自動車産業が低成長に陥ると、若く裕福なポーランド移民は Hamtramck を出て郊外へと移っていくことになりました。結果として、Hamtramck はミシガン州で最も貧しい地域となりましたが、同時に多くの移民(先述の通りイスラムの人々)の受け皿となり、多様な人々が暮らす街となりました。

歴史博物館では、20世紀前半の Hamtramck の地図や家具、各国からの移民を描いた壁画などがあり、この地域を知るためのよい体験になったと感じました。続いて訪れた Middle School では、折紙やじゃんけん列車をしたり、日本のお菓子を食べたりして生徒たちと交流しました。「ありがとう」「こんにちは」…教えた日本語をたくさん使おうとしてくれる姿に、心が温まりました。また、担任の先生が翻訳機を使って保護者と会話

すると言っていて驚きました。それは英語を話すことができない保護者が当たり前にいるからです。加えて、びっしりと埋まった彼女の手帳にその苦労が垣間見えたように思います。“The world in two square miles”・・・この地域にはそんなスローガンがあります。ただ、これほど小さな教室の中だけでも、私にはその意味が少しわかったような気がしています(レポートの最後に参考文献を載せました。ぜひ読んでみてください)。



自己紹介をする様子です
自分の家族のことをたくさん教えてくださいました



博物館で購入した Hamtramck の写真です
家同士の間隔がとても狭いことが分かります。路上駐車した車も多く、移動するのが大変でした

2. Halloween について

日本では、あまり盛大にお祝いする習慣はないように思います。しかし、アメリカのハロウィーンは違います。ハロウィーンが近づくにつれて、家の周りには手作りの Jack-o-Lantern が増えていきました。私も 1 つ作り、家の中にハウスメイトが作ったものと一緒に並べて置きました。

イベントの中でも特に、ダウンタウンで行われたパレードは印象深いものでした。道に沿って子どもたちがお菓子をもらおうと並ぶのですが、だんだんと前に出て行ってしまい、警備員にたしなめられることが常でした。私もしっかりその中の一員となり、お菓子をもらうことができたので良い経験になりました。



Pumpkin Patch の様子です
ここで Jack-o-Lantern 用のかぼちゃを選びました



パレードの様子です
手作りにもかかわらずそのクオリティの高さに驚きました

3. Health Center について



Health Center で処方された薬です
瓶に入ったのど飴を手掴みで渡されたときには、
この大雑把さは日本にないものだと感じました

10月のとある日に、風邪をひいてしまいました。数日経っても咽頭痛と咳が治まらなかったため、友人の勧めに従い、大学内にある Health Center にかかりました。ここは、フィンドレー大学の学生や教職員が無料で利用できるクリニックです。オンライン上で予約し、時間になれば診察を受けることができます。診察室では、現在の症状やそれまでに服用した薬について簡単なやりとりがあり、施設の滞在時間は15分ほどで済みました。薬がうまく効き、すぐに症状は改善したので安心しました。フィンドレー大学へ入学した際は、ためらわずに行ってみてください。

11月レポートでもお会いできますように！

*本プログラムや生活について、聞いてみたいことがありましたら
kawaharazukas@findlay.edu にお気軽にご連絡ください。私の経験が、みなさまの一助になればと思います。

参考文献

(後者は本文で言及しませんでした。読みやすく、Hamtramck の歴史と今がまとまっていると思います)

Niraj Warikoo (2023), "Hamtramck City Council approves religious animal sacrifices at home," Detroit Free Press, Jan. 11st. Updated Jan. 13th, from

<https://www.freep.com/story/news/local/michigan/wayne/2023/01/11/hamtramck-city-council-approves-religious-animal-sacrifices-slaughter-home/69797191007/> (2023/10/29 : 情報取得)

Zhaoyin Feng (2021) "The US city run by Muslim Americans," BBC News, Nov. 16th, from <https://www.bbc.co.uk/news/world-us-canada-59212355> (2023/10/30 : 情報取得)